

給食に毎日牛乳が出るのはなぜ？



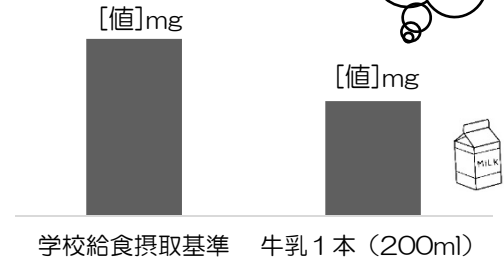
学校給食摂取
基準の 65%!

<カルシウム量の比較>

牛乳には、骨や歯を作るカルシウムがたっぷり含まれています。

学校給食摂取基準では、カルシウムの基準値を 350 mg としています。これは小学生が 1 日に必要な量の約 50% です。

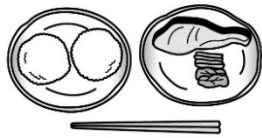
牛乳 1 本 (200ml) でとれるカルシウムは 227mg です。給食で必要なカルシウムの 65% を、牛乳 1 本でとることができるのです。



1月24日から1月30日は、全国学校給食週間です！！

日本の学校給食の歴史を振り返ってみましょう。

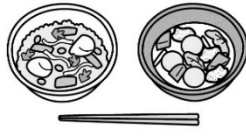
1889年(明治22年) 学校給食の始まり



[おにぎり、焼き魚、漬物]

山形県の私立忠愛小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちのために食事を提供したのが始まりです。

1923年(大正12年) 関東大震災発生



[五色ごはん、栄養みそ汁]

義援金により給食が実施され、学校給食の価値が広く認められます。

1942年(昭和17年) 戦争のため給食中断

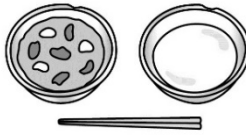
1950年(昭和25年) 完全給食実施



[コッペパン、ミルク(脱脂粉乳)、カレーシチュー]

アメリカから寄贈された小麦粉で「パン・ミルク・おかず」の完全給食が実施されます。

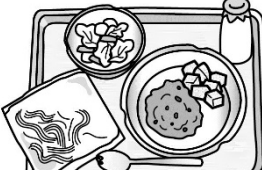
1947年(昭和22年) 戦後・給食再開



[ミルク(脱脂粉乳)、トマトシチュー]

1945年に戦争が終わりました。子どもたちの栄養状態を改善するため、支援物資による学校給食が開始されます。

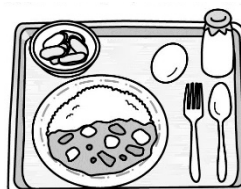
1963年(昭和38年) 牛乳への切り替わり



[ソフトめんミートソース、牛乳、フレンチサラダ]

ソフトめんが登場します。この頃、脱脂粉乳から牛乳へと切り替わります。

1976年(昭和51年) 米飯給食の導入



[カレーライス、牛乳、塩もみ、ゆで卵]

1900

1910

1920

1930

1940

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

2018

<大和市の学校給食の歴史>

★ 1959年(昭和34年) 林間小学校で給食開始

★ 1973年(昭和48年) 北部調理場の開設
⇒中学校給食開始

★ 1979年(昭和54年) 米飯給食開始

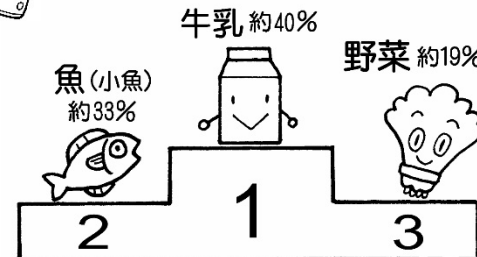
★ 1982年(昭和57年) 米飯が週2回になる

★ 1993年(平成5年) 牛乳が紙パックに変更

★ 2010年(平成22年) 米飯が週4回になる



牛乳はカルシウムの吸収率 No.1!



牛乳は、ほかの食品と比べるとカルシウムの吸収率が高い食品です。これは、牛乳に含まれている乳糖やカゼインという成分に、カルシウムの吸収を促進する働きがあるためです。

今のような寒い時期は、特に牛乳の飲み残しがが増えてしまいます。しっかり飲みましょう!

※ 大和市の給食では青菜・骨まで食べられる魚等を献立に取り入れ、牛乳のみに頼らずしっかりカルシウムがとれるよう工夫しています。



給食展ポスター掲示のお知らせ

1月24日から30日の全国学校給食週間にあわせて、大和市役所では市内小中学生が作った給食展ポスターを掲示しています。ぜひお立ち寄りください。なお、採用された作品は平成30年度大和市学校給食展のポスターとなります。

日時 | 平成30年1月25日(木)~28日(日)
8時30分~17時00分
※28日(日)は8時30分~12時30分
場所 | 大和市役所本庁舎1階ロビー



学校給食で使用する食材の放射性物質濃度測定について

こちらをクリック⇒

